

カリキュラム - Curriculum -

	1年	2年	3年	4年
総論	心理学概論 臨床心理学概論		各論	神経・生理心理学 視覚と芸術の心理学 感情・人格心理学 言語心理学 思考心理学 道徳心理学 青年期の発達心理学 高齢者の心理学 心理学的支援法 力動論的アプローチ 認知行動療法 家族療法論 心理教育的アセスメント 健康心理アセスメント データ解析 実験計画法 公認心理師の職責 関係行政論 臨床教育学 学校臨床心理学 発達障害の心理と指導援助
研究入門	心理学研究法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 発達心理学 社会・集団・家族心理学 心理学史 教育・学校心理学 健康教育概論 人体の構造と機能及び疾病	心理学統計法	キャリアカウンセリング 健康・医療心理学 健康心理カウンセリング 福祉心理学 障害者・障害児心理学 産業・組織心理学 産業カウンセリング 司法・犯罪心理学 精神疾患とその治療 心身医学 子どものこころとからだ	
実習		心理学実験	心理演習 遊戯・芸術療法 心理的アセスメント	
			心理実習A 健康心理アセスメント実習 心理実習B 心理実習C	
			臨床心理学演習IA 臨床心理学演習IB	臨床心理学演習IIA 臨床心理学演習IIB
			卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究

TOPICS

公認心理師をめざすために必要な 5分野を幅広く学べるカリキュラム

心理職として、日本で初めて誕生した国家資格・公認心理師。2018年度に新設された心理学部臨床心理学科では、公認心理師養成に対応したカリキュラムを編成しています。保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野の5分野を実践的に学び、「こころの専門家」として、心のケアができる人材を育成していきます。

※この教育課程表は、平成30年度教育課程に基づくものです。
※履修制限のある科目が、一部あります。

履修モデル - Course Model -

4年間の履修計画を立てる際の参考となるように、学ぶ分野や将来の進路に合わせた履修モデルを設定しています。

心理専門職

資格を生かした
心理のプロフェッショナルへ

- 履修科目目録
- 神経・生理心理学
 - 公認心理師の職責
 - 障害者・障害児心理学
 - 子どものこころとからだ
 - 心理学実験

[心理学実験]

少人数のグループで実験を行い、レポートを作成します。錯視や感覚、認知の実験など自分たちで実験内容を決めることもあり、分析には時間がかかりますが、達成感も大きいです。

3年 M. Y. さん



臨床心理学活用

心理学の知識やスキルを生かして、
多彩なフィールドで活躍

- 履修科目目録
- 思考心理学
 - 健康心理アセスメント
 - キャリアカウンセリング
 - 心身医学
 - 臨床心理学概論

[臨床心理学概論]

さまざまな心の病気の歴史から、その症状や対処法までを詳しく学ぶことができます。疑問を感じることにに対しては、次の授業で丁寧な解説が受けられるので勉強になります。

1年 Y. I. さん



自己実現

心理学的素養を、
心の健康に生かせる人材へ

- 履修科目目録
- 言語心理学
 - 道徳心理学
 - 家族療法論
 - 健康心理カウンセリング
 - 青年期の発達心理学

[青年期の発達心理学]

思春期から成人までの過程をたどりながら心理社会的な変化について学びます。発達をする過程で受ける影響は、アルバイトなどの身近なものも含まれ、納得する点が多いです。

3年 H. M. さん



Close up

講義

教育・学校心理学

新井 雅 講師

教育における子どもの問題を学ぶ

学校教育活動の在り方や子ども達が抱える諸問題を心理学的観点から学びます。また、学校不適応などのさまざまな困難を抱える児童生徒に対する心理教育的な支援法について、講義および体験的なワークを通して学びます。

公認心理師の職責

宮崎 圭子 教授

公認心理師の仕事を理解する

日本初の心理職国家資格が「公認心理師」です。本授業では、公認心理師の役割についての理解など、国の施行規則に基づいて定められた5つのポイントを学びます。未来の専門職としてしっかり身につけましょう。



遊戯・芸術療法

松崎 くみ子 教授

「遊び」と「表現」によるコミュニケーションを知る

心理療法としての遊戯療法・芸術療法を学びます。まず、第1の段階として、学生自身が自由で守られた時間・空間の中で「遊び」「表現」を体験し、その後、理論的な整理を試みて、遊戯・芸術療法の概要を理解することをめざします。「遊び」「表現」を媒介として、自分自身、そしてあまり知らない相手ともコミュニケーションができることを学びます。

Close up

ゼミナール



臨床心理学演習

酒井 佳永 准教授

医療におけるこころの問題や臨床心理士の役割を学ぶ

ゼミによって異なる特定のテーマについて、担当教員の指導のもと、さまざまなグループワークや課題に取り組みます。それにより、学生が主体的に学び、ゼミ生同士の絆も深まります。酒井ゼミでは「医療領域における臨床心理士の役割、こころの問題の理解やその支援」をテーマにしたグループでの研究・発表や「自分を客観的に観察し、他者の言葉に耳を傾ける姿勢」を修得するための「自己理解」と「他者理解」のワークを行います。

卒業論文・卒業研究のテーマ

(2017年度／一部抜粋)

- 女子大学生における関係性攻撃と仮想的有能感の関連
- 日本における通り魔事件の特性分析
- 幼少期における遊びと大学生の人格形成との関連性について
- 友人関係における第一印象とその後の変化について
- 女子大学生における犯罪の種類別不安感
- 女子大学生におけるやせ願望と食行動の関係
- アルバイトの有無によるアサーションとストレスコーピングの関係
- 「キャリア意識」と「アイデンティティ・対人関係欲求」の差と関連
- 母娘関係が及ぼす心理的距離への影響
— 家族関係単純図式投影法を用いて —
- 女子大学生における地域愛着と精神的健康の関連
- 日常生活におけるポライトネス表現が被受容感に及ぼす影響についての検討
- 女子大学生の認知する親の夫婦関係が抑うつスキーマとストレスコーピングへ及ぼす影響
- 女子大学生における現在の主観的幸福感と児童期の家族機能の関連性
- 女子大学生における家族機能とストレス耐性の関係について
- 女子大学生におけるソーシャルサポートとライフイベントの関連性